

# わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

上映運動北海道実行委員会ニュース

2023年6月2日 NO 9

〒065-0018 札幌市東区北18条東15丁目3-6 ブランノワールF101号

☎011-374-8280 FAX011-374-8281



映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」日本映画復興賞受賞記念講演会

## 伊藤千代子・相沢良の青春と治安維持法

—「新しい戦前」の再来を許さないために！—

高崎裕子 実行委員長 大いに語る

映画「わが青春つきるとも」日本映画復興賞受賞記念講演会  
伊藤千代子・相沢良の青春と治安維持法  
—「新しい戦前」の再来を許さない—  
講師 高崎裕子 弁護士



5月21日（日）、札幌市のかでる2・7で高崎裕子弁護士を講師に上記の講演会が開催され、遠く浜頓別町や上川町、八雲町からの参加も含めて、110人が参加しました。高崎裕子弁護士は、伊藤千代子、相沢良の生い立ちから治安維持法の弾圧によって亡くなるまでの経歴をそれぞれ語り、最後に現在の情勢に引き寄せて、新しい戦後にさせないために、「戦争を食い止めた」と後世に胸を張って語れるように、それぞれの立場でできることをやりましょうと結びました。

また、治安維持同盟道本部の横山博子事務局長が治安維持法同盟の運動について報告しました。毎年国会請願署名を提出し、立憲民主党の議員も紹介議員になっていること。粘り強く行っていることを報告しました。

上映運動北海道実行委員会、副実行委員長の畠山忠弘さんは、これまでの上映運動のまとめと今後の第3次運動に向けた方針を提起しました。会場では、映画の原作本の「時代の証言者—伊藤千代子」が6冊、映画のパンフレットが1冊売れ、治安維持同盟の署名が17筆集まり、22人から感想文が寄せられました。

この講演会の模様は、5月27日からYouTube（「伊藤千代子」で検索）で見ることができます。

### 《寄せられた感想文より》

- ★相沢良について話を聞くのは初めてだったのでよくわかりました。治安維持法について大変わかりやすく理解できました。まだ映画を観ていないのでぜひ上映してください。
- ★あの大変な時代に命がけでたたかった若い女性たちの話はとても感動的でした。そして「知は力」を再確認しました。
- ★憲法前文にある「平和のうちに生存する権利がある」をこれからも追求し続けましょう。映画はもう一回見てみたいと思います。
- ★より一層9条は私たちの宝と感じました。9条で、そして憲法で権力者を監視することが私たちの使命と考えます。「新しい戦前」を許さない。命がけで自由を守ろうとした犠牲者の方々に学ぶことができました。

- ★高崎さんの講演を読者に聞いてもらいたいでDVDにならないでしょうか。相沢良のことがよくわかりました。2人の女性の生き方を改めて聞き感涙です。治安維持法についても改めて学ぶことができました。
- ★先人が自分の命を顧みず、活動に参加していたことに感銘しました。自分も頑張らないと……。今でも政府が治安維持法犠牲者への謝罪も、賠償もしていないことは腹立たしい。どこかで映画も見たいものです。
- ★憲法9条を守ったと未来で語れるよう、平和を願いながら過ごしたいと思いました。命がけで平和、戦争反対を貫いた方々の意思を引き継いで、平和のための志を自分も持って学習を深めていきたいと思います。伊藤千代子の映画は、自分の働き方、人生について学び、考えるきっかけとなりました。

# 全国 10 万人・北海道 1 万人鑑賞参加をめざす第 3 次上映運動開始 再び戦争と暗黒政治を許すな！—戦争と弾圧は手をつないでやって来る

全道 179 自治体での上映をめざして、第 3 次上映運動がスタートしています。

上映会を各地で広げることは、大軍拡とたたかう「映画運動の分野からの反撃」です。日本の軍国主義に果敢に立ち向かった千代子の勇気と行動は、日本の歴史に確実に刻印されています。平和と民主主義の実現を求める人たちにとって、千代子の生き様は大きな道しるべとなっています。情勢を語り広げながら、平和な社会の実現へ向けた地域共同の運動として各地での上映会を企画し、再び戦争と暗黒政治を許さない大きな運動を作り、千代子の志に応える奮闘をしていきましょう。7月2日（日）札幌市の「守大助さんを守る札幌の会」が定期総会の第2部として上映会を計画しているのをはじめ、名寄市では、新婦人の創立60周年記念行事と位置付けて実行委員会を作り、名寄大学の階段教室を会場に上映会を計画しています。遠軽町でも「戦争させない」地域の運動と結んで実行委員会を結成し、上映会の準備が始まっています。



## 第 3 次上映会日程



NO	実行委員会	月日	場所	上映時間	連絡先
49	守大助さんを守る札幌の会	7月2日(日)	高教組センター 大会議室	14時	宮子 090-1388-1639
50	遠軽町実行委員会	7月30日(日)	遠軽町メトロプラザリハーサル室	13時	佐々木090-6267-4840
51	名寄市実行委員会	10月22日(日)	名寄大学 階段教室	午後から	川村 090-2051-9122

## 第 40 回日本映画復興賞授賞式・全国交流会



5月27日、東京都新宿区の農協会館で第40回日本映画復興賞授賞式と授賞式に引き続いて映画上映運動全国交流集会が行われ、北海道から副実行委員長の畠山忠弘さんと事務局の隼野弘子さんが参加しました。



### 《隼野弘子さん感想文より》

農協会館（東京都新宿区）を会場に行われた授賞式と、受賞記念の上映運動全国交流集会に参加してきました。

各作品の監督から、制作過程での受賞の喜びと苦労話などが述べられ、桂監督は、「毎年日本では600本ほどの映画が製作されており、その中から平和主義、人権、国民主権の三つの精神が貫かれているかどうかを選定の基準にしている。この映画は、戦前の絶対的天皇制との厳しい闘いの中でも、希望を捨てず闘い抜いた日本共産党の活動家である伊藤千代子の鮮烈な生涯を描いた映画であり、これまでの映画で描き切れなかった、戦前の反戦平和や人権擁護

描いた作品として評価されたものです。」と受賞理由を述べました。

劇映画「わが青春つきるとも」上映運動全国交流会集会では、参加県は、北海道・東京・千葉・埼玉・長野・山梨の6都道府県の40名ほどでしたが熱気みなぎる交流会でした。

原作者の藤田寛登さんは「上映運動の現在の到達は、全国46都道府県450会場で80,800人が鑑賞した。年内に10万人を突破したい。」と力強く訴えました。同盟中央本部の吉田万三会長は「今、岸田政権が推し進めている大軍拡路線の情勢に、この伊藤千代子の作品はまさにタイムリーです。何とか工夫して多くの青年たちにみてもらい、次世代にバトンタッチしていきたい。」と語りました。各県から報告があり、北海道からは畠山忠弘さんが、全道の上映運動の到達を踏まえ、北海道の地図をかざしながら、「これからは本当に大変なんです。各地の民主団体と手を結び、繋がり、この映画の上映運動の意義を語り一つ一つ実現していきたい。」と決意を述べました。

### ★各受賞作品★

- ・復興賞 劇映画「わが青春つきるとも」
- ・平和賞 80歳から「平和行進」に参加、歩み続けている山口逸郎さん（現在90歳）
- ・復興奨励賞 『失われたときの中で』『教育と愛国』『長崎の郵便屋さん』『こころの通訳者た

